

「多重危機が世界で進行する中で、 世界を救えるのはやはり有機農業」

2023年度の市民講座は、2020年度に引き続きまして一人の講師による通年講座といたしました。講師は民間稲作研究所常任理事の印鑰智哉（いんやく ともや）さんです。印鑰さんにつきましては、今年2月の研究所公開シンポジウムにおいて「急速に進む命の分解」と題した報告をしていただきました。その報告内容の詳細を知りたいとの声がたくさんあり、今回の企画となりました。

第2回

「遺伝子組み換え食品は 何をもたらしたか？」

みなさんは、遺伝子組み換え食品は従来の食品と同等とお思いでしょうか。遺伝子組み換えは画期的な品種改良が可能な技術として始められて30年以上になり、とくに、アメリカ、ブラジルなどでは大豆・トウモロコシ・菜種・綿の4作物はほぼ遺伝子組み換え品種に凌駕されてしまいました。

しかしながら、商業的に広まったのは農薬耐性と害虫抵抗性のみであって、その代わりというか予想もしなかったスーパー雑草やスーパー害虫が出現してきました。在来農法に悪影響を及ぼしており、ほぼ意味なしになってきています。

そこで、私たちは生物多様性や 農民の伝統的知恵を活かした アグロエコロジーや 有機農業 に活路を見出したい、と考えています。

記

- 期日 2023年9月27日（水）
時間 18時00分～20時00分
会場 NPO 法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター（上三川町下神主233）
（センター内30台駐車可。電車はJR石橋駅東口からタクシーで約5分）
申込み 氏名・連絡先を添えTEL/FAX 0285-53-1133まで。
民間稲作研究所のホームページ <https://inasaku.org> から申し込みます。
会費 500円
定員 30名（先着順）

参加申込書

先着30名です。資料準備の都合上、9月25日（月）の午前中までにお申し込みください

ご氏名	フリガナ 他 名	連絡先 (電話・FAX・ メール)	
ご住所	〒		

問合せ：とちぎ有機の会 斎藤・高山（NPO 法人民間稲作研究所内）

TEL/FAX（0285-53-1133）または同じ内容をメールで info@inasaku.org まで

年間予定（変更の際は通知やホームページでお知らせします）

2023年度 市民講座の開催内容

	月	日	内	容
第1回	7月	26日（水）	工業型農業が多重危機を作り出した	→ 放射線米がやってくる？
第2回	9月	27日（水）	遺伝子組み換え食品は	何をもたらしたか？
第3回	11月	29日（水）	「ゲノム編集」食品は	何が問題か？
第4回	1月	24日（水）	工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ	

〔付記〕 開催日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。